

エクステンジプログラム報告書

1. 被招へい者（被派遣者）全員の氏名・所属・身分とそれぞれの滞在期間・滞在先
佐藤修二 名古屋大学理学研究科 教授
2012年12月18日（火）～12月22日（土）
台湾国立中央大学 12/18-19（1泊2日）、12/21-22（1泊2日）
鹿林天文台 12/19-12/21（2泊3日）
2. 受け入れ担当者の氏名・所属・身分
Chen Wen Ping 国立中央大学 教授

3. 招へい（派遣）の目的（200字程度）

過去2回（2010年6月／2011年2月）の訪問において、観測装置：3色（g' r' i'）偏光カメラ TRIPOL の提案を行い、鹿林天文台 1m 望遠鏡の共用装置として TRIPOL の製作することを合意した。2012年1月から3月まで3ヶ月間で製作して、5月末～6月初め、鹿林天文台 1m 望遠鏡に搭載した。その後、夏秋に数回、使用されたが、この間天候が思わくなく、信頼できるデータが得られなかった。

今回の訪問は、安定した冬場の好天を狙って観測を行うことが目的である。

4. 成果報告（用紙が不足の場合は足してください）

(1) 12月20～21日鹿林天文台で12個の T Tauri 星と1個の彗星の観測を、国立中央大学の3名、Chien-Hsu（助手）、Chandler（院生）、Bohe（院生）とともにいった。観測はトラブルなく快調に行われた。2年半にわたる開発が成功裏に終了したことを確認した。

今回の観測以降も、引き続き TRIPOL による科学的観測（太陽系天体：小惑星偏光、彗星偏光）が続けられる。

TRIPOL は、その後、鹿林天文台の標準装置として登録され、NCU を中心として台湾の研究者に提供される。具体的な科学成果につながることを期待される。

今後の予定（合意事項）として

- 1) 観測継続 および装置の較正
- 2) 装置に関する論文を学術誌 Publication of Astronomical Society of Pacific に公表予定